

令和3年度ローカルファースト財団事業計画(案)

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

ローカルファースト財団第8期について、関係団体と連携を図りながら、ローカルファーストに関わる調査研究、普及啓発等の事業を引き続き推進する。

実施事業

1 ローカルファーストに関わる調査研究

(1) 先進事例等の調査研究

- ・啓発資料検討に向けた調査研究を行う。

2 ローカルファーストに関わる普及啓発、交流促進

(1) ローカルファーストシンポジウムの実施

- ・ローカルファーストの意義を広く普及啓発し、地域において地域主導型事業の立ち上げを推進するためシンポジウムを実施する。
- ・本年度は、令和4年3月に、富山市において、国土交通省の官民連携都市再生推進事業補助金を活用し、基調講演、パネルディスカッション等を実施する。

(2) ローカルファーストワークショップの実施

- ・ローカルファーストによるまちづくりの促進のため、ローカルファーストの機運が高まる地域において、先駆的な事例のプロセス等の共有、データを活用した地域の特徴の見える化、ローカルファーストの展開に向けたデザイン思考のワークショップを実施する。
- ・令和3年9月から12月に、輪島市、佐久市、高知市において、国土交通省の官民連携都市再生推進事業補助金を活用し、講演、地域課題に向けたワークショップを実施する。

(3) ローカルファースト推進のための各種事業への連携協力

- ・日本商工会議所が実施するデザインキャンプ(ワークショップ)等各種事業に連携協力する。
- ・各地区におけるまちづくりフォーラム等にアドバイザー、パネラーとして参加する。

3 ローカルファーストを基盤とした事業の創出

(1) 地域主導型事業立ち上げのための支援、協力

- 4 ローカルファーストに関わる研究、活動への助成、支援
 - (1) ローカルファースト研究会活動への支援
 - (2) 地域主導型 PPP・PFI 事業推進活動への支援、協力

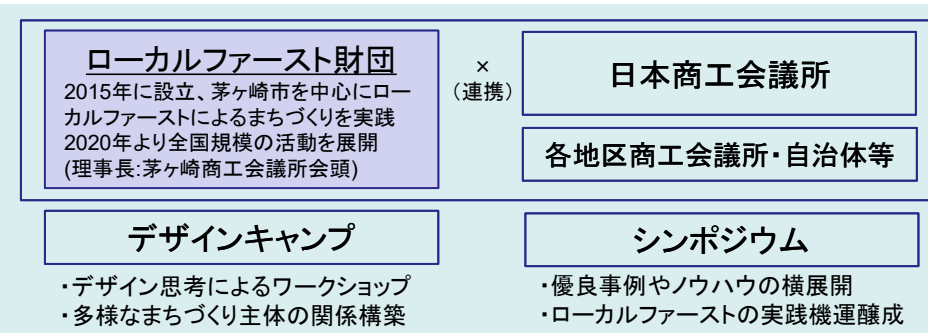
- 5 その他この法人の目的を達成するために必要な事業
 - (1) 公益財団法人化に向けた準備、検討

一般財団法人ローカルファースト財団

普及啓発事業

□ 日本商工会議所と連携して、地域に新しい経済好循環や価値を生み出そうとするローカルファーストのノウハウ等を展開することで、多様なまちづくり主体の連携を図り、民間主導のまちづくりを促進することを目指す。

事業主体：一般財団法人ローカルファースト財団



スケジュール

■ **R3年度** ※今年度の事業スケジュールや事業フローを記載

事業名	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
デザインキャンプ				→ ●第1回 (1カ所目)	●第2回 (2カ所目)	●第3回 (3カ所目)				
シンポジウム								開催準備		●開催

■ 今後の予定

R4～ 調査研究、広報活動や年1回のシンポジウム等を通じて、各地の活動をフォローしていく。

事業概要 (R3事業費：4,915千円、R3国費：4,915千円)

■ デザインキャンプ (実施時期R3.9～R3.12)

ローカルファーストの機運が高まる地域で、先駆的な事例のプロセス等の共有、データを活用した地域の特徴の見える化、ローカルファーストの展開に向けた、デザイン思考によるワークショップを実施する。

- ・参加対象者 各地のまちづくり関係者
各回約20名程度
- ・実施場所 全国3カ所
- ・実施内容 講演(事例・ノウハウ共有)
デザイン思考による地域課題のワークショップ
- ・期待する効果・成果等
ローカルファーストなまちづくり(地域に経済の好循環創出、地域課題の解決、新しい価値創造)の促進を目指す。



■ シンポジウム (実施時期R4.3)

先駆的な事例の周知および意欲ある地域を後押しするための全国的な場を設けるとともに、ローカルファーストの実践機運を醸成する。

- ・参加対象者 全国のまちづくり関係者(商工会議所職員、自治体職員、NPO法人など)
- ・実施場所 富山県(予定)
- ・参加対象者
withコロナ時代の地方創生など、ローカルファーストの考えを取り入れたまちづくりについて、基調講演やパネルディスカッションを実施
- ・期待する効果・成果 等
多様かつ自立的なまちづくり事業・主体の創出を図り、都市の魅力・競争力の向上を目指す。

R3.3.9開催(R2年度補助事業)

